

XTOOL | F1

取扱説明書



目次

01 安全第一（重要）	01
02 内容物一覧	02
03 xTool F1の紹介	02
04 xTool F1 使用	03
05 回転装置の使用	07
06 メンテナンス	08
07 アフターサービス	08
08 説明	08

注：この製品には2種類の外見オプションがあります。このマニュアルの説明は、一方のモデルのみを使用しています。

01 安全第一（重要）

1.一般的な注意事項

機械を使用する前に、すべての安全上の注意事項と手順を読み、よく理解してください。すべての安全上の注意事項に厳密に従い、マシンが適切に組み立てられ、適切に機能していることを確認してください。

- ⚠ 安全上の注意事項に従ってください。
 - 使用前に、毎回機械に損傷がないか確認してください。損傷や欠陥が見つかった場合は、いかなる方法でも操作しないでください。
 - 作業場が清潔で平らであることを確認してください。
 - 許可なくマシンの分解や改造を行わないでください。オペレーティングシステムを変更または逆コンパイルを行わないでください。
 - 許可なくマシンの分解や改造を行わないでください。オペレーティングシステムを変更または逆コンパイルを行わないでください。
 - 動作中は、機械から離れないでください。機械が正常に動作しているかどうかには注意してください。
 - レーザーの動作温度は 10℃と 30℃の間です。それは厳密に 0℃以下で動作するように禁止されています。

2.レーザーに関する安全上の注意事項

通常の状況では、動作時にレーザーは機器の本体や保護筐体によって人体に届かないようにさえぎられています。xTool F1 を使用して物体を加工する前に、保護筐体が下に下がった状態で、物体を覆っていることを確認してください。保護筐体で物体全体を覆い隠すことができない場合、波長 455 nm ~ 1064 nm のレーザービームからお客様の目を保護できる安全ゴーグルを着用する必要があります。この機器には安全インターロックスイッチがあります。動作中にこの機器を移動すると、けがを防止するために、機器は自動的に動作を停止します。

- ⚠ 安全上の注意事項に従ってください。
 - マシンの一部を取り外した状態で操作しないでください。部品を取り外すと、レーザーシステムが露出し、マシンが損傷する可能性があります。
 - PVC またはビニール（プラスチック素材は推奨されない）を含む物質を彫刻または切断しないでください。これらの物質（および塩素 / 塩化物を含むその他の物質）は、人体に非常に有害な腐食性ガスを発生させ、マシンに損傷を与える可能性があります。PVC またはビニールを含む物質を彫刻または切断することによって生じた損傷は、当社の保証対象外です。
 - 未知の物質を彫刻したり切断したりしないでください。PVC やポリカーボネートを含む素材等は、気化 / 溶融により、有害な煙を放出する可能性があります。
 - 動作中は、機械から離れないでください。機械が正常に動作しているかどうかには注意してください。

3.火災に関する安全上の注意事項



材料を切断または彫刻するとき、高密度レーザー光線を材料に照射し、表面を加熱することで燃焼せずに気化させます。しかし、ほとんどの材料は本質的に可燃性であり、発火して炎上することで、マシン（難燃性材料でできていても）とその周辺を焼き尽くす可能性があります。弊社の経験から、レーザーを使用してベクター画像を基にした切断を実行すると、直火が発生する可能性が最も高くなります。

- ⚠ 次の警告と推奨事項をよくお読みください。
 - 発生した煙が短時間で消滅するように、作業場所で良好な通気を確保してください。
 - マシンの周りに物質（特に紙などの有機物）を積み重ねないでください。炎の広がりを引き起こし、発火のリスクを高める可能性があります。
 - 動作中は、マシンから離れないでください。マシン x の設定が不適切な状態で長時間放置された場合、または機械的または電気的な故障が発生した場合、火災の原因となる場合があります。
 - 定期的にマシンを清掃してください。切断や彫刻による残留物や欠けが過剰に蓄積すると、火災の危険性が高まる可能性があります。機器の内部に破片や切れ端が何も残らないように、内部操作領域を定期的に清掃する必要があります。
 - マシンの周囲に可燃性物質、爆発物、またはアセトン、アルコール、ガソリンなどの揮発性溶剤がないことを確認してください。
 - 消火器等を近くに設置し、定期的な保守点検を行ってください。
 - xTool F1 を使用して燃えやすい素材を低速かつ大出力で切断または彫刻する場合、素材が発火して火花が散りやすくなります。火花が発生した場合、ただちに加工を停止してください。

4.電気に関する安全上の注意事項

- ⚠ 次の警告と推奨事項をよくお読みください。
 - 電源の接続中は、マシンを分解しないでください。感電の恐れがあります。
 - マシンが電源に接続されているときは、手やその他の工具で電気領域に触れないでください。

5.警告および指示標識

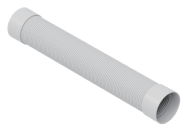
xTool F1では、操作前や操作中にマシンに故障や損傷が発生する可能性がある場所に、警告および指示標識があります。これらの標識が破損または紛失した場合は、ただちに交換してください。次のテンプレートを使用して、必要な標識を印刷できます。



02 内容物一覧



xTool F1



パイプ



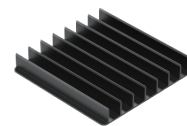
電源アダプタ



電源コード



USBケーブル



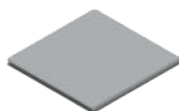
三角柱操作パネル



L字型位置決めパーツ



鍵(スペアパーツ)



不織布(リントフリーの布)



グリース



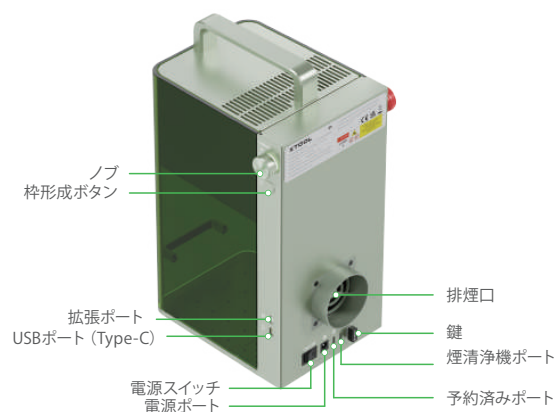
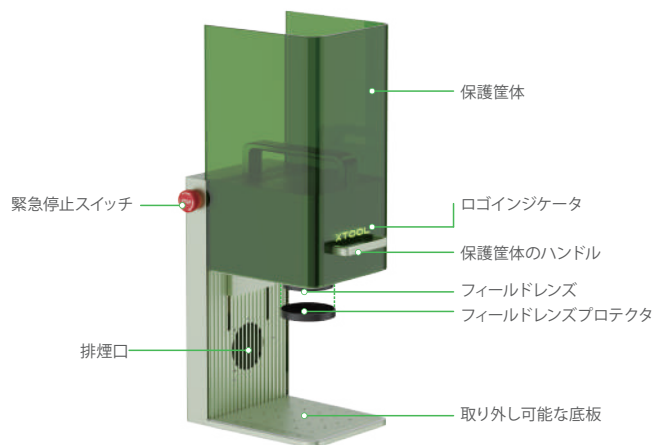
素材パック



取扱説明書

03 xTool F1の紹介

製品の構造



インジケータの説明



ログインジケータ	ノブインジケータ	機械の状態
常時点灯	● 白色常時点灯	ソフトウェアに接続されていません
	● 黄色常時点灯	ネットワークの設定中
	● 青色常時点灯	ソフトウェアに接続されています
	● 緑色常時点灯	タスク完了
	● 紫色常時点灯	ファームウェア更新中
	● 赤色常時点灯	エラーが発生しています
	● 赤色で3回点滅	無効な操作
点滅	● 青色常時点灯	タスク実行中
消灯	○ 白色でゆっくり点滅	10分以内に操作をしないとスリープ状態になります。

仕様

製品名	xTool F1
サイズ	179 mm × 235 mm × 334 mm
接続モード	Wi-Fi、USB
レーザーモジュール	455 nm 青色レーザー 1064 nm 赤外線レーザー

入力電源	24 V = 5 A, 120 W
最大加工速度	4,000 mm/s
内部操作領域	100 mm × 100 mm
レーザー電源	10 W (455 nm) 2 W (1064 nm)

04 xTool F1 使用

準備

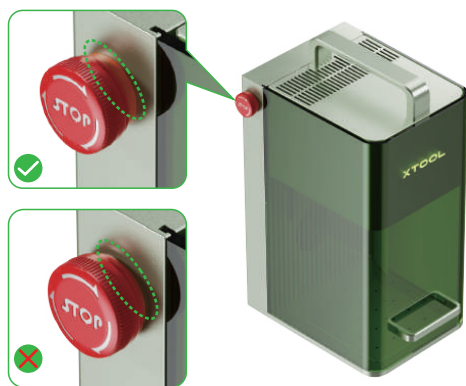
1 パイプを取り付けます。



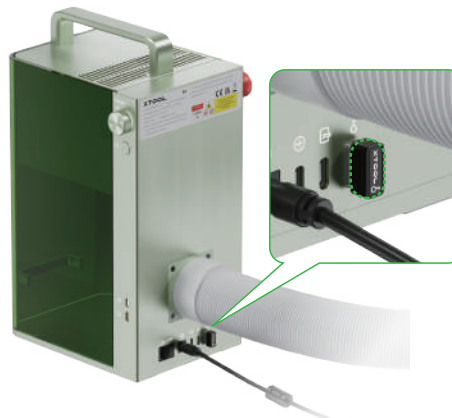
2 電源に接続します。



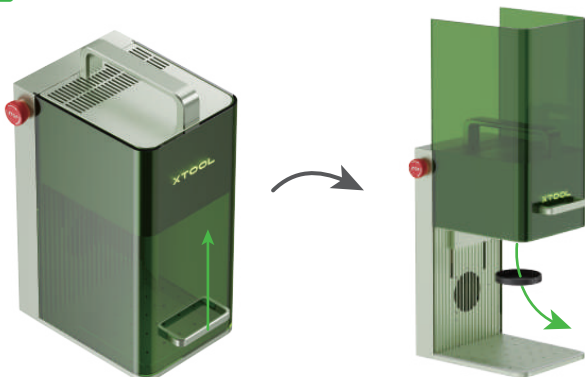
3 緊急停止スイッチが押下されていないことを確認します。



4 鍵が正しく差し込まれていることを確認します。



5 フィールドレンズプロテクタを取り外します。



xTool F1を操作するためのソフトウェアの使用法

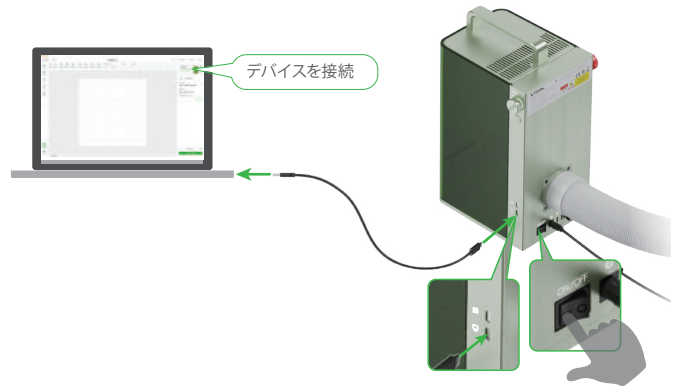
- 1 makeblock.com/cn/docs/xtool-jpにアクセスし、xTool Creative Space (XCS) をダウンロードしてインストールします。



XCS



- 2 xTool F1の電源を入れ、ケーブル経由でPCに取り付けた後、XCSに接続します。



xTool F1をXCSに接続した後、製作作業を開始できます。

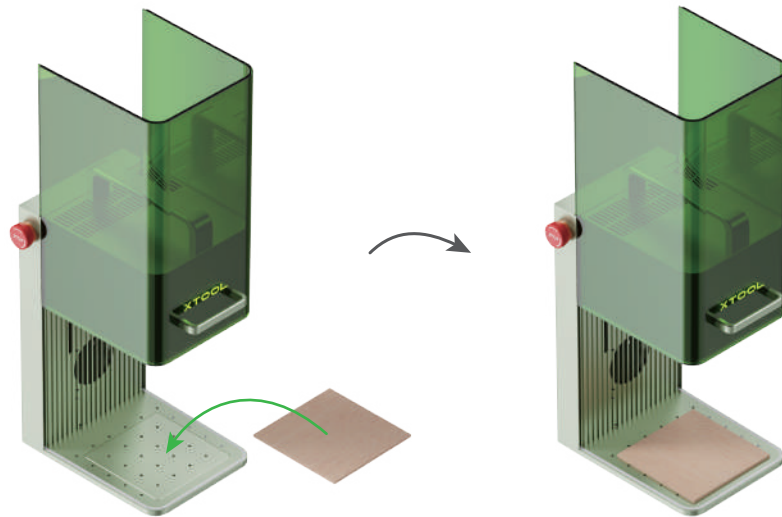
素材を加工するためにXCSを使用してxTool F1を操作する方法の詳細は、makeblock.com/cn/docs/xtool-jpをご覧ください。



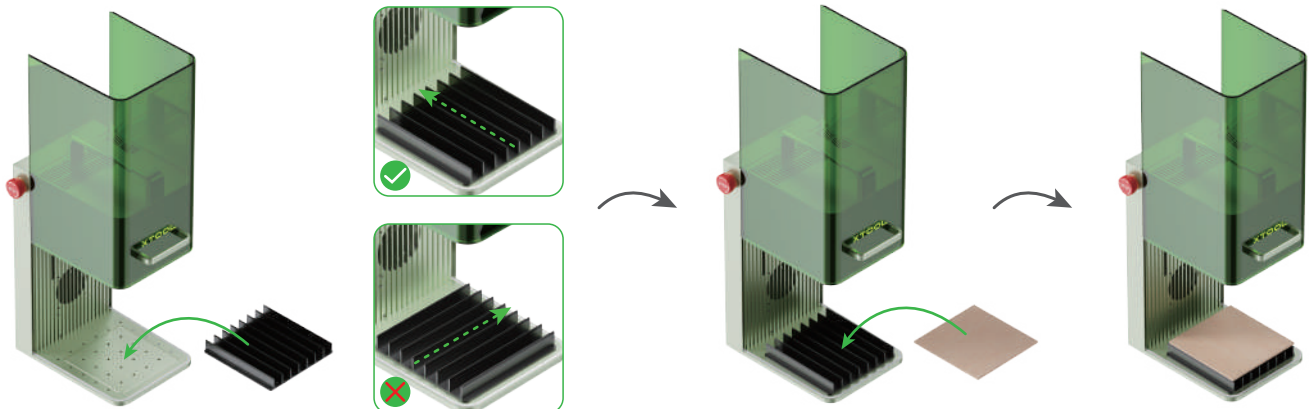
ビットマップの彫刻に赤外線レーザーを低温で使用すると、満足のいく彫刻結果が得られない場合があります。より良い彫刻結果を得るために、加工前にレーザーモジュールを予熱することができます。

複数回適用のシナリオ

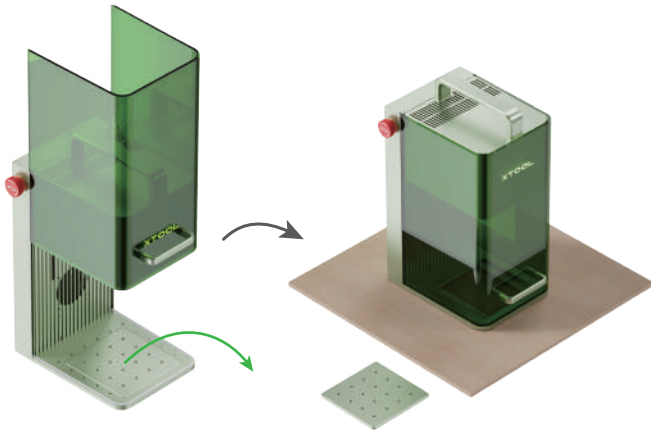
小型サイズ素材の加工



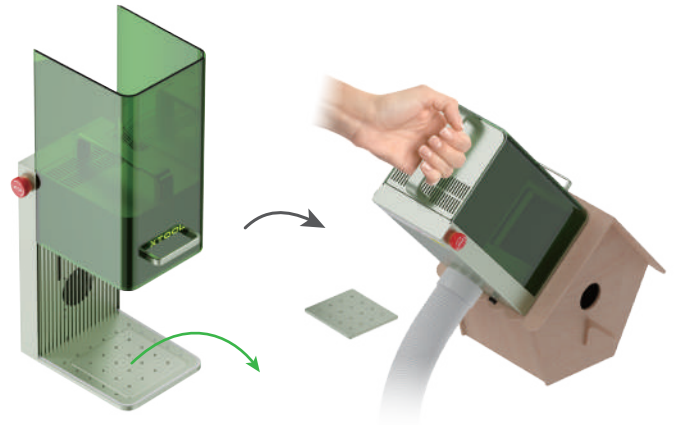
材料をレーザーカットする場合は、三角柱操作パネルを使用することをお勧めします。材料加工時の焼け焦げ部分を減らすことができ、ベースプレートを保護することができます。



大型サイズ素材の加工

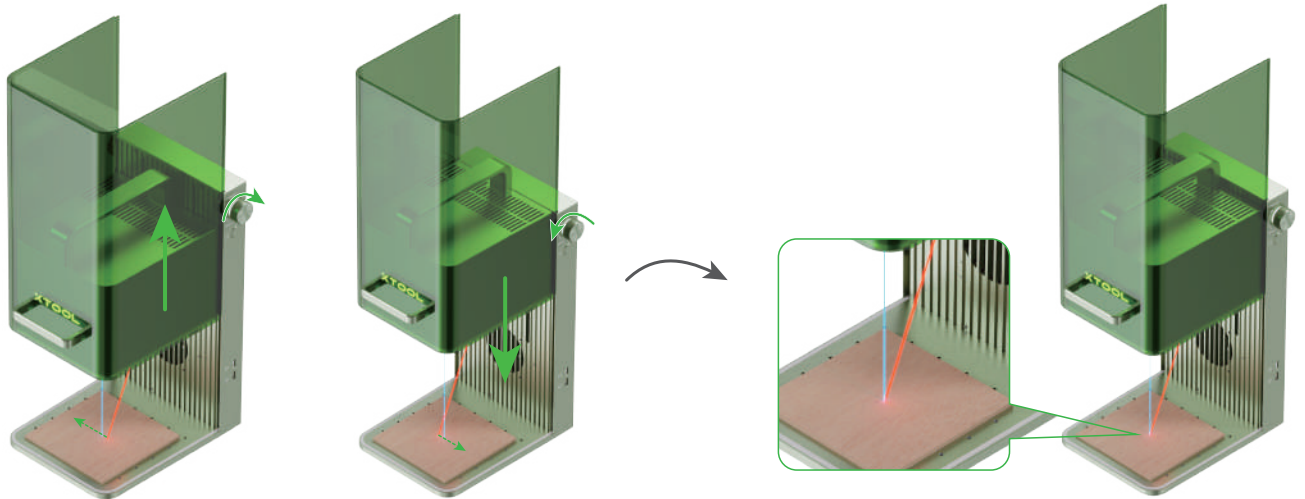


傾斜のある素材の加工

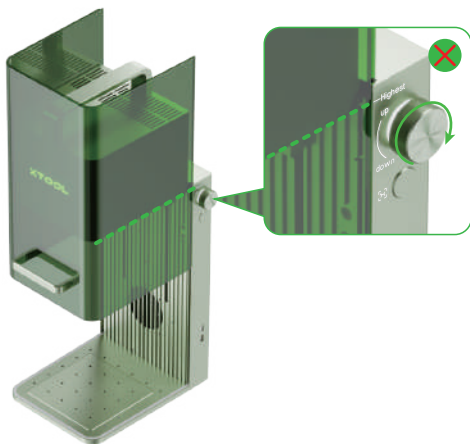


手動焦点合わせの設定

ノブを回し、レーザーヘッドを上下に移動します。赤い光と青い光の照らす点が重なった場合、焦点合わせは成功しています。

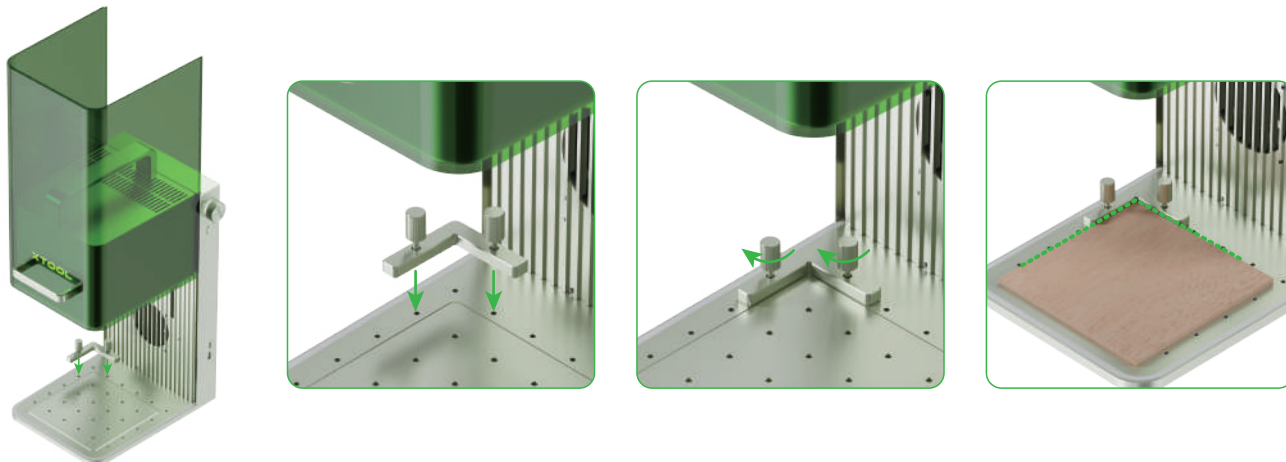


レーザーモジュールの底が一番高くなったら、もうノブを上に回さないでください。



大量加工

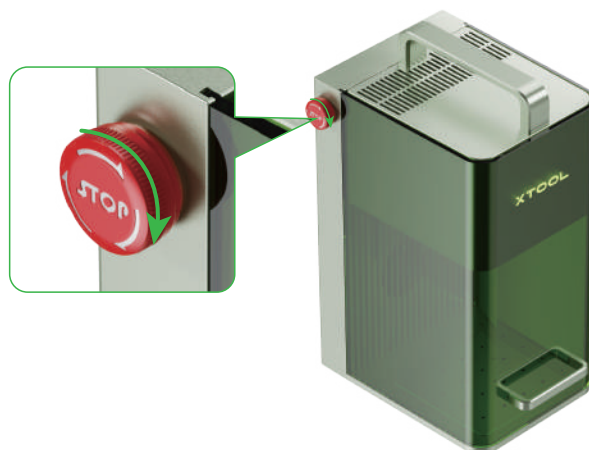
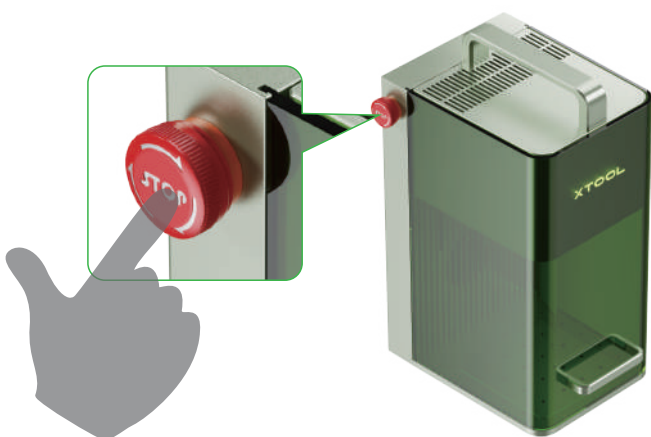
大量加工を行う場合、L字型位置決めパーツを使うと、素材を毎回同じ位置に置くのに役立ちます。



緊急停止

素材加工中にエラーまたは機器の故障が発生した場合、緊急停止スイッチを押して機器の電源をオフにし、加工を停止することができます。

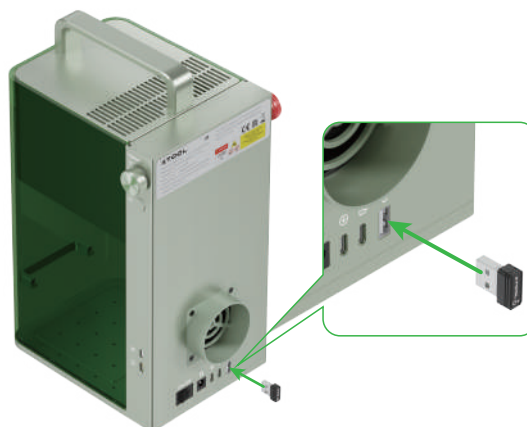
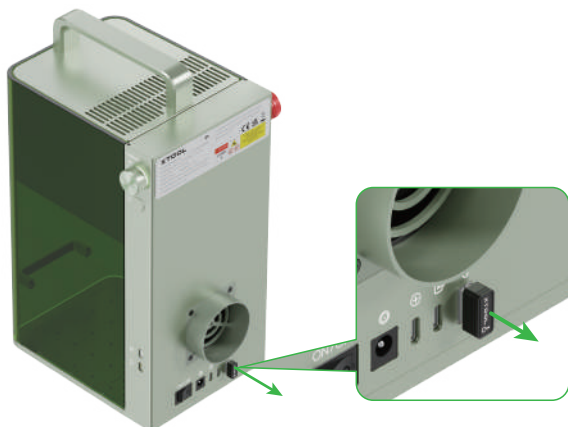
機器をリセットする目的で緊急停止スイッチを回すこともできます。



操作アクセスの制御

自分の機械を他の人が使用することを防止するために、鍵を取り外し、加工や他の関連機能をロックすることができます。

鍵を差し込むと、加工や他の関連機能のロックを解除できます。



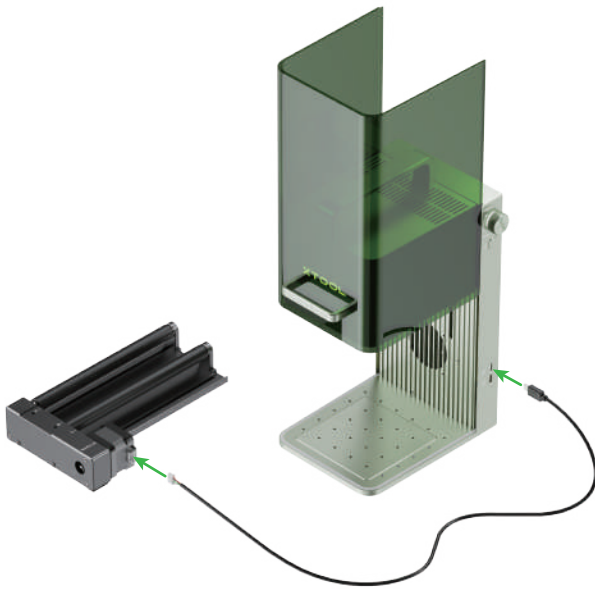
05 回転装置の使用



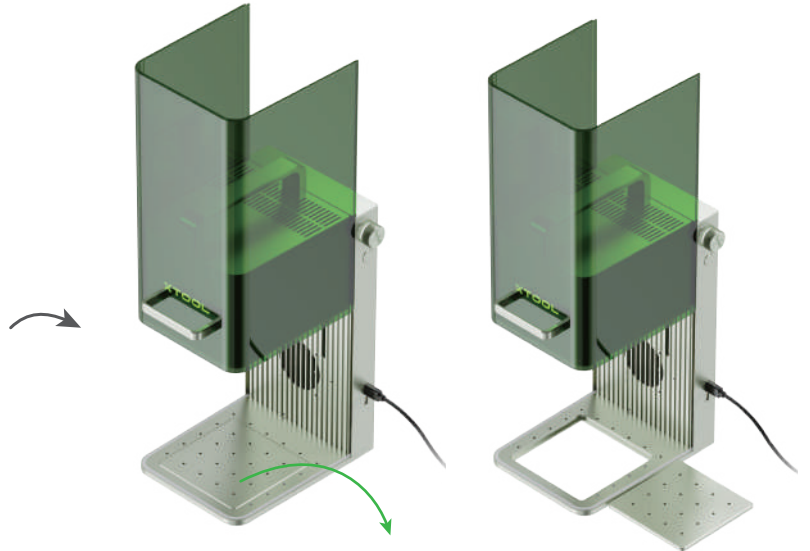
ロータリーアタッチメントは別売りです。

ロータリーアタッチメントバックに付属の接続ケーブルがxTool F1と互換性がない場合、互換性のあるケーブルを購入する必要があります。

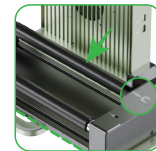
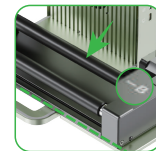
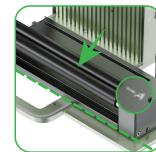
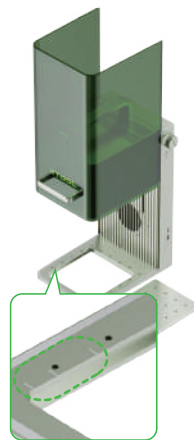
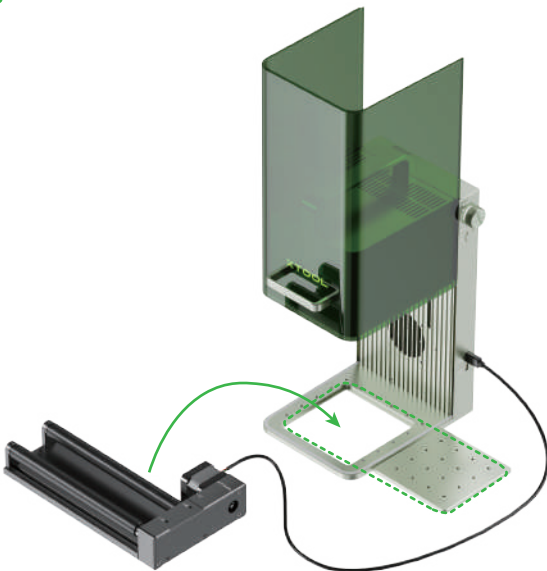
1



2

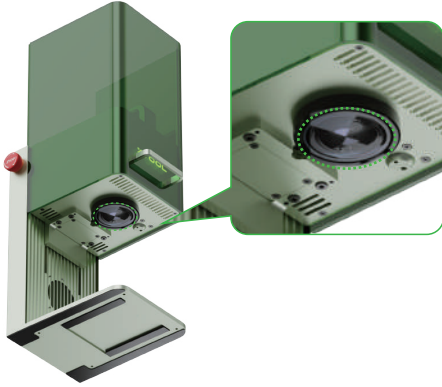


3

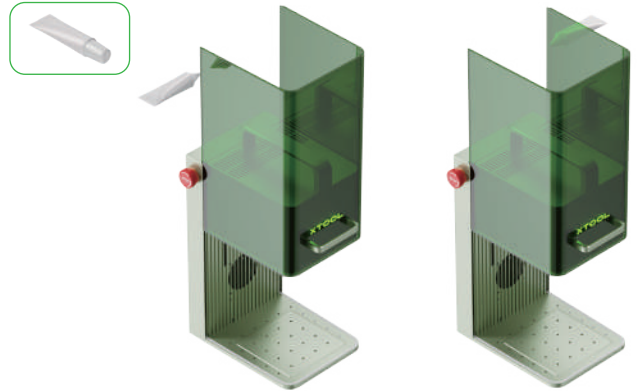


06 メンテナンス

■ レーザーの出力低下が発生し、たとえば、彫刻パターンが狭くなるか素材が予期したとおりに切断できない場合、フィールドレンズが汚れている可能性があります。不織布（リントフリーの布）をアルコールで湿らせ、レンズを清掃します。



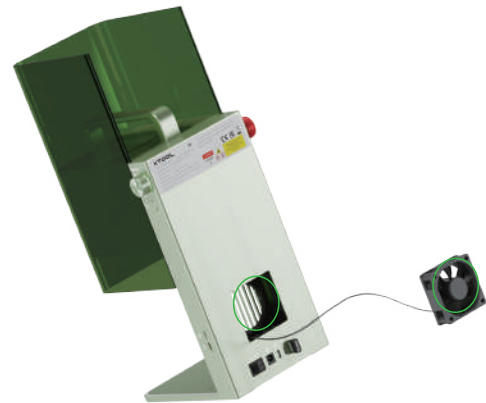
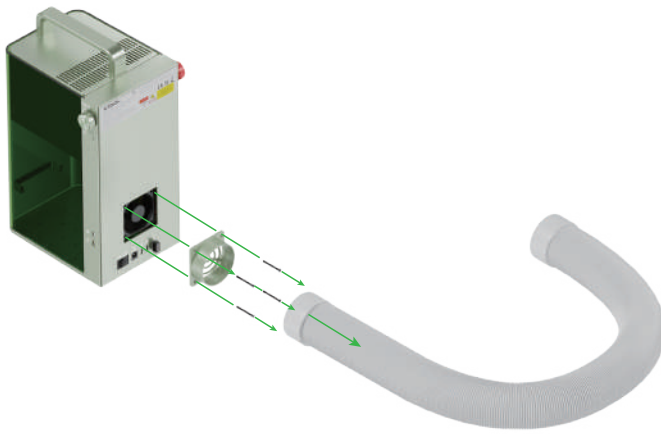
■ 保護筐体を上下に滑らかに移動することができない場合、両端の縁にグリースを塗布します。



■ 煙が保護筐体の外側にあふれ出す場合、ほこりが付着し、ファンと煙排出口が動作を妨げている可能性があります。ほこりを取り除き、煙を正しく排出できるようにします。



機器の内側にほこりが落ちることを防止するために、機器をわずかに傾けてください。



07 アフターサービス

テクニカルサポートについては、support@xtool.comまでお問い合わせください。アフターサービスの詳細については、jp@xtool.comにアクセスしてください。

08 説明

説明

xTool製品へようこそ!

製品の利用体験を向上させるために、本製品を初めて使用する場合は製品に付属するすべての資料をよくお読みください。取扱説明書の説明や要求事項に従って製品を使用しなかった場合、または誤解などにより製品を誤操作した場合、当社はそれによって生じたいかなる損失についても責任を負わないものとします。

当社は、本書の内容を厳密かつ慎重に照合しておりますが、誤字や脱字が残っている場合があります。

当社は、製品の機能とサービスの品質を継続的に改善することに専念しており、本書に記載されている製品またはソフトウェア、および本書の内容について、いつでも変更する権利を留保します。

本書は、ユーザーが製品を適切に使用することを目的とし、ハードウェアおよびソフトウェアの構成に関する説明は含まれていません。製品の構成については、マニュアルを参照してください。本書の画像は参照用であり、実際の製品と異なる場合があります。

本マニュアルは、著作権法および規制によって保護されているため、当社の書面による事前の許可なしに、本書をいかなる手段によっても複製、転写したり、いかなる有線または無線ネットワークでいかなる方法によっても送信したり、いかなる言語に翻訳したり、いかなる内容、写真、レイアウトなどの変更を行ったりすることを禁じます。

XTOOL